



野菜の需給・価格動向レポート(平成25年4月15日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		3月の価格動向			4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の關 東・近畿ブロック 旬別平均販売価額		
			中旬	下旬				
葉 茎 菜	 キャベツ	88.05	83	76	88.05	96	・入荷見込量：16,700t (100) ・主産地：神奈川 (42)、愛知 (42)、千葉 (11)	・神奈川産は、生育が回復して順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。愛知産は、出荷のピークを過ぎ出荷量が減少傾向となっているものの、順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。
		83.73	79	69	83.73	82	・入荷見込量：4,700t (106) ・主産地：愛知 (50)、大阪 (16)、兵庫 (15)、三重 (9)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
	 ねぎ	229.99	212	190	264.1	223	・入荷見込数量：3,760t (100) ・主産地：千葉 (47)、埼玉 (25)、茨城 (11)、輸入 (5)	・千葉産は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、春ものの出荷となっており、冬場の影響による生育遅れも回復して、順調な出荷となる見込み。茨城産は、秋冬ものの出荷が終了し、今後は春ものの出荷となるが、順調な生育で4月15日の週から出荷開始の見込み。
		309.39	260	229	334.73	230	・入荷見込数量：220t (108) ・主産地：徳島 (27)、三重 (17)、香川 (15)、奈良 (14)、大阪 (11)、高知 (10)	・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
	 はくさい	61.12	51	57	67.05	52	・入荷見込量：6,055t (100) ・主産地：茨城 (84)	・茨城産は、春ものの出荷となり、気温の上昇と日照時間にも恵まれたことから、玉肥大も順調で、ピークを迎えて月末までは潤沢な出荷となる見込み。
		68.7	51	49	77.96	49	・入荷見込量：3,400t (114) ・主産地：長崎 (32)、熊本 (25)、茨城 (23)、宮崎 (13)	・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
	 ほうれんそう	307.66	289	321	376.1	447	・入荷見込量：1,245t (100) ・主産地：群馬 (34)、茨城 (22)、埼玉 (20)、千葉 (15)	・群馬産は、ハウスものが中心の出荷となっており、4月6～7日の暴風雨の影響もなく平年並みの出荷の見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。
		341.25	282	312	396.89	412	・入荷見込量：560t (96) ・主産地：徳島 (36)、岐阜 (24)、福岡 (22)、群馬 (6)	・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
	 レタス	199.64	133	106	156.23	148	・入荷見込量：7,850t (105) ・主産地：茨城 (62)、兵庫 (17)、香川 (5)	・茨城産は、最近の曇天の影響により、一時より落ち着いた出荷量となっている。大玉傾向の出荷となっているものの、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、3月の好天の影響を受けて大玉傾向で、平年より多めの出荷となっているものの、今後は、出荷量が落ち着いて平年並みの出荷となる見込み。
		203.61	144	132	165	159	・入荷見込量：1,450t (113) ・主産地：兵庫 (55)、茨城 (20)、徳島 (16)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
	 たまねぎ	76.15	90	89	76.15	80	・入荷見込量：12,370t (110) ・主産地：佐賀 (44)、北海道 (37)、輸入 (7)	・佐賀産は、気温の上昇により生育が順調で、少なかった前年を上回る出荷となっており、今後は本格的な出荷の時期を迎え、順調な出荷となる見込み。北海道産は、平年を上回る出荷となっているものの、出荷の終盤を迎え、月末までの出荷の見込み。
		76.15	88	83	76.15	77	・入荷見込量：5,100t (120) ・主産地：佐賀 (34)、北海道 (24)、長崎 (24)、兵庫 (10)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
果 菜	 きゅうり	253.95	219	204	253.95	295	・入荷見込量：6,960t (102) ・主産地：埼玉 (29)、群馬 (22)、千葉 (13)、茨城 (12)	・埼玉産は、最近の曇雨天の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は月末のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。群馬産も、少なめの出荷となっているものの、下旬から5月上旬のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。
		242.77	201	199	242.77	253	・入荷見込量：1,550t (106) ・主産地：宮崎 (46)、高知 (16)、徳島 (15)、群馬 (11)、愛媛 (6)	・埼玉産及び群馬産の出荷が増加すると見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
	 トマト	339.78	435	390	339.78	431	・入荷見込量：6,530t (110) ・主産地：栃木 (25)、熊本 (24)、愛知 (14)、埼玉 (6)、千葉 (6)、茨城 (5)、群馬 (5)、福岡 (4)	・栃木産は、小玉傾向であるものの、着果状況が良好で平年並みの出荷となっており、今後も平年並みの出荷となる見込み。熊本産は、最近の気温の低下によりやや少なめの出荷となっているものの、今後は日照時間も多くなることから、月末にかけて出荷量が増加する見込み。
		321.78	408	391	321.78	417	・入荷見込量：1,200t (108) ・主産地：熊本 (59)、福岡 (18)、愛知 (8)	・順調な出荷が見込まれるものの、需要が堅調なことから、価格は、平年を上回って推移する見込み。
	 なす	347.77	335	321	347.77	339	・入荷見込量：3,420t (103) ・主産地：高知 (49)、福岡 (22)、佐賀 (8)、群馬 (5)	・高知産は、好天と気温の上昇により着果も良く、平年を上回る出荷となり、5月のピークに向け出荷量が増加する見込み。福岡産は、3月末からの低温の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は日照時間も多くなることから、出荷量が回復する見込み。
		330.95	324	309	330.95	324	・入荷見込量：780t (105) ・主産地：高知 (34)、熊本 (22)、福岡 (17)、大阪 (11)、岡山 (10)	・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
	 ピーマン	551.24	543	382	308.36	398	・入荷見込量：2,030t (105) ・主産地：茨城 (55)、宮崎 (19)、高知 (18)	・茨城産は、最近の曇天の影響により、やや少なめの出荷量となっていたものの、樹勢が良いので、月末にかけて増加する見込み。宮崎産は、生育が順調で平年を上回る出荷となっているものの、今後は出荷量が落ち着き平年並みの出荷となる見込み。
		513.91	541	398	283.1	311	・入荷見込量：400t (116) ・主産地：宮崎 (59)、高知 (25)、鹿児島 (8)、和歌山 (6)	・茨城産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。
根 菜	 だいこん	79.03	74	57	86.59	68	・入荷見込量：10,925t (105) ・主産地：千葉 (81)	・千葉産は、4月6～7日の暴風雨の影響もなく順調な生育で、平年を上回る出荷となり、今後も平年を上回る出荷となる見込み。
		80.47	71	57	94.24	54	・入荷見込量：3,100t (114) ・主産地：長崎 (37)、鹿児島 (27)、香川 (19)、徳島 (7)、福岡 (7)	・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
	 にんじん	101.05	146	157	156.99	184	・入荷見込量：6,865t (105) ・主産地：徳島 (67)、輸入 (13)	・徳島産は、生育の遅れも回復し収穫作業も順調に進み、少なかった前年を上回る出荷となり、今後も安定した出荷が続く見込み。
		104.73	141	165	148.36	184	・入荷見込量：2,400t (107) ・主産地：徳島 (79)、長崎 (8)、鹿児島 (7)	・徳島産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。

種類		3月の価格動向			4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額		
			中旬	下旬				上旬
い も		217.95	191	182	—	165	—	〈入荷量が少ないため、見通しは省略〉
		219.65	93	75	—	116		
		88.17	87	83	131.8	87	・ 入荷見込量：9,120t (105) ・ 主産地：北海道 (58)、鹿児島 (39)	
		88.17	89	80	131.8	86		

- 1）平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均（消費税は除く。）。
2）旬別平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額（平均価格の90%）を下回るもの（消費税は除く。）。
3）単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。
4）入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。（）内は前年対比。
5）主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。（）内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
6）コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもので。

2 野菜の需要動向

家計調査によると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,533gで前年比101%、購入金額は、1,641円で同95%となり、購入数量は前年並み、購入金額は前年をやや下回った。 また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は、179円で過去5か年平均比87%、レタスは、424円で同83%となり、キャベツは過去5か年平均をかなり下回り、レタスは大幅に下回った。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額（1人当たりの購入数量と購入金額）							
	主要野菜の月別小売価格（東京都区部） （単位：円/kg）							
		キャベツ			レタス			
		過去5か年平均	平成25年	5か年比（%）	過去5か年平均	平成25年	5か年比（%）	
1月	187	203	109	579	904	156		
2月	203	204	100	555	722	130		
3月	207	179	87	512	424	83		
4月	248		0	466		0		
5月	175		0	369		0		
6月	140		0	338		0		
7月	149		0	308		0		
8月	138		0	414		0		
9月	142		0	526		0		
10月	150		0	467		0		
11月	155		0	385		0		
12月	148		0	495		0		

資料：総務省「小売物価統計調査報告」
1）過去5か年平均は、平成20～24年の平均。
2）平成25年3月の値は、3月中旬の速報値。

3 野菜の輸入動向

3月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比61%（中国は同72%、アメリカは同18%）の2万2千トンとなり、にんじんは、同71%（中国は同72%、台湾は同73%）の9千トンとなり、ねぎは、同75%（中国は同74%）の4千トンとなった。たまねぎ、にんじん及びねぎともに、前年を大幅に下回った。	野菜の輸入数量 （単位：トン、%）							
	主な野菜の輸入動向 （単位：トン、%）							
区分	平成23年		平成24年		平成25年1～2月		平成25年2月	
		前年比		前年比		前年同期比		前年同月比
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	137,940	77	71,720	72
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	296,441	103	126,512	103
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	434,381	93	198,232	89
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	220,764	95	98,357	102
中国産シェア	52		51		51		50	

資料：ベジ探（原資料）財務省「貿易統計」

資料：農林水産省「植物防疫統計」。平成25年3月は、速報値である。

4 トピック —加工・業務用野菜の最近の動向—

主要野菜の加工・業務用需要は、増加傾向で推移し、平成22年の加工・業務用需要は56%となり、野菜需要量の過半を占めている。その内訳を見ると、カット、冷凍、漬物等に使われる加工原料用の比率が増加し、外食用や中食用の業務用の比率は減少している。

加工・業務用需要に対する国産での供給量を見ると、ばれいしょが最も多く、次いでだいこん、キャベツ、はくさい、たまねぎの順になっている。

一方、農業協同組合等における加工・業務用野菜の品目別取扱量を見ると、ばれいしょが最も多く、次いでたまねぎ、キャベツ、はくさい、だいこんの順になっており、加工・業務用需要に対する国産での供給量の傾向とおおむね同じような傾向となっている。

なお、加工原料用の1分野であり、最近需要の伸びが目立っているカット野菜の原料の比率を見ると、キャベツが最も高く、たまねぎ、だいこんがそれに次いでおり、加工・業務用需要に対する国産での供給量の傾向とは若干異なる傾向が見られる。この理由としては、ばれいしょは直接加工工場で処理されることが多く、カットのニーズが少ないこと、はくさいは漬物需要が多いこと等によるものと思われる。

次号においては、カット野菜の消費動向について紹介する。

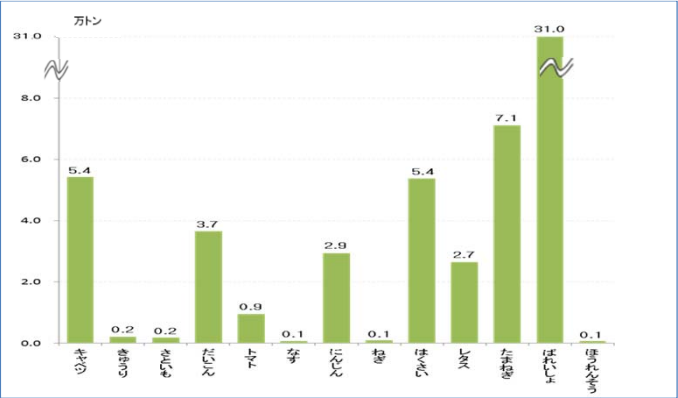
加工・業務用野菜取引実態調査及びカット野菜製造者の製造・販売状況調査はこちらから。

主要野菜の加工・業務用需要の動向

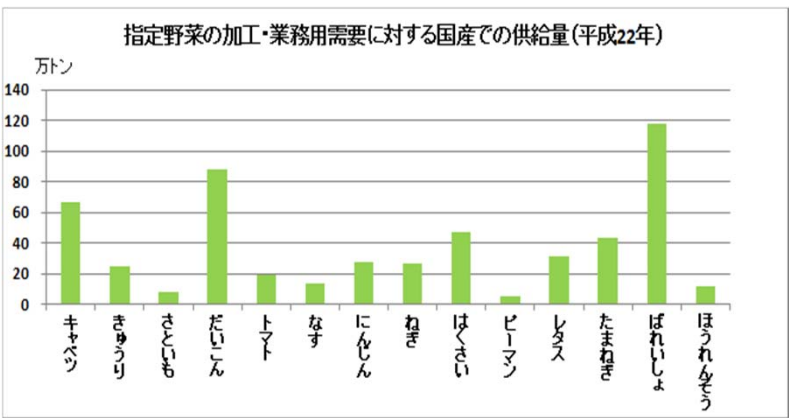
		13品目計			キャベツ			レタス		
		2000年	05年	10年	2000年	05年	10年	2000年	05年	10年
加工・業務用		54	55	56	48	48	50	57	57	58
	加工原料用	27	30	32	22	26	29	27	36	37
	業務用	27	25	24	26	22	21	30	21	21

資料：農林水産政策研究所
注：主要野菜とは、ばれいしょを除く指定野菜である。

農業協同組合等における加工・業務用野菜の品目別取扱量（平成23年）

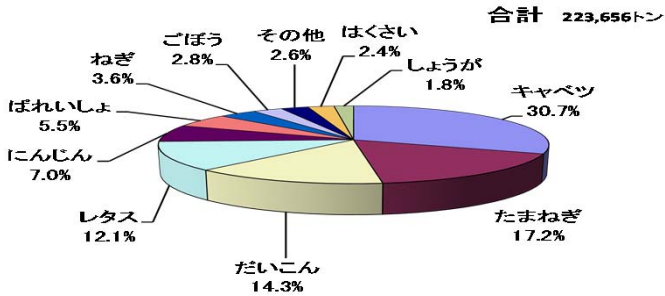


資料：農畜産業振興機構「加工・業務用野菜取引実態等調査」



資料：機構作成、原資料：農林水産政策研究所
注：1. 農林水産政策研究所で推計した数字を元に、機構が加工・業務用需要に対するの国産での供給量を推計した。
2. ばれいしょについては、農林水産省が公表しているでん粉用及び加工食品用の数字を用いている。

カット野菜原料の年間使用量の比率（上位10品目数量ベース、平成23年）



資料：農畜産業振興機構「カット野菜製造業者の製造・販売状況調査」

◆問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。